

NEWSLETTER

No011520

バリューチェーンの数字の仕組みについて述べます。

バリューチェーンのテーブル(表)をご覧ください。
 テーブルに掲げられた数値を縦に上から下へとご覧ください。

	[01]	
C	S	P
3.60	10	0.05
2.60	11	0.05
1.70	12	0.15
1.10	13	0.60
0.75	14	1.20
0.55	15	2.05
0.45	16	2.90
0.35	17	3.90
0.30	18	4.80
0.25	19	5.80
0.20	20	6.70
0.15	21	7.70
0.10	22	8.70
0.05	23	9.60
0.05	24	10.60
0.05	25	11.60

← 13.60 (= 10 + 3.60)

0 : ITV Not included
 (OTV only)
 0 : ITV included

上のテーブルについて、まず、S の値をご覧ください。

10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25 と1ポイント刻みで表示されています。それらはF1(この例では[01])の値の変化の想定された範囲です。幅広くとってあり、[01]がエキスパイアするまでに大凡この範囲で収まるであろうという想定ですが、この範囲を超える可能性もあります。その場合はSの数値の範囲を広げて表示します。

どの数値から見るか。

S 値の左側と右側の値にはどのような違いがあるのでしょうか。

また、バリューチェーンの数字全体はどのような構造になっているのでしょうか。

さらに、それらの値はマトリックスの数値/数値構造とどのような関係があるのでしょうか。

最後に、最も大事なこととして、バリューチェーンをどのようにオペレーションに生かし目的を遂げるのか……最後の部分が事業目的(収益を上げ資産の増加を図ること)と結びついている最も大事な部分ですが、そのためにすべての数のつながりを理解する必要があります。

